



Università  
Ca' Foscari  
Venezia  
Dipartimento di Studi  
sull'Asia e sull'Africa  
Mediterranea

国際日本学ワークショップ  
——交響する〈知〉のネットワーク2——  
都市のイリュージョン



*International workshop on Japanese Culture Studies - Network of a Symphony of Knowledge*  
Graduate School/Faculty of Arts and Letters, Tohoku University

〈内容〉

「支倉リーグ」のパートナーであるヴェネツィア大学の教員と学生による研究と教育のセッション。従来の「日本学」「日本研究」とは一線を画す、あらたな〈日本学〉の構築を目指して、〈表象〉〈資本〉〈共感〉の連繫を試みる未来指向型のイベント、支倉リーグのネットワークを生かしたコラボレーション。——それが「交響する〈知〉のネットワーク」である。

今回は第二弾として、「都市のイリュージョン」をテーマに掲げ、ワークショップを開催する。海上都市ヴェネツィアを例にとっても分かるように、“都市、とは人々が密集し構造物が複雑に建ち並ぶ中、様々な錯視をはらんで、不可思議な感覚を生み出す場所である。歴史・哲学・政治・経済・文学・美術・建築、等々、様々な領域からグローバルな視点で切り込んでいくことで、都市の相貌が見えてこよう。日本学の知見とも交差することで、あらたな《都市論》を、ここヴェネツィアで思考する。

【日時】

2018年3月19日(月) 10:00～17:00 sala A, Palazzo Vendramin dei Carmini

午前 《基調講演》 . . . . . 各 45 分

午後 《発表》 . . . . . 各 25 分 (発表 15 分+質疑 10 分)

※発表言語…日本人学生(英語)、イタリア人学生(日本語) / 質疑応答…日本語・英語

☆ワークショップに前後して、ヴェネツィア周辺の歴史的遺構・文化財を探访するフィールドワークを実施。

(昨年度の実績：ヴェネツィア カ・フォスカリ大学(ヴェネツィア)、パドヴァ大学図書館 解剖学教室(パドヴァ)、スクロヴェーニ礼拝(パドヴァ)、パツァーディオ博物館(ヴィチエンツァ)、オリンピコ劇場(ヴィチエンツァ)、サンタ・カテリーナ博物館「印象派」展(トレヴィーゾ)、世界遺産バルバロ邸(マゼール)、スカルパ「プリオン家の墓」(サン・ヴィート)、カノーヴァの石膏彫刻陳列館(ボッサーニョ)、ほか。【日程】2017年3月13日羽田発—3月21日羽田着)

ヴェネツィア カ・フォスカリ大学(Ca' Foscari University of Venice)は1868年創立、8学部1万9000人を擁する総合大学。「カ・フォスカリ」とはヴェネツィア共和国の総督フランチェスコ・フォスカリが1457年に建てたゴシック様式の宮殿で、現在はヴェネツィア大学の本部が置かれている。ヴェネツィア大学のアジア・地中海アフリカ学科の日本研究科で学ぶ学生は1,500人に及び、日本研究に関しては、ローマ大学、ナポリ大学と並んで、イタリアで最も充実している大学の一つである。2017年、東北大学と大学間学術交流協定を締結する。

ボナヴェントゥラ・ルベルティ教授 Bonaventura Rupert

ヴェネツィア、カ・フォスカリ大学アジア・地中海アフリカ学科日本語日本文学教授  
文学博士。イタリアにおける日本文学・演劇研究の第一人者。ヴェネツィア大学東洋学科を卒業し、卒論は近松門左衛門の浄瑠璃(1983年)。ナポリ東洋大学・ヴェネツィア大学共同の大学院に進み、泉鏡花研究で文学博士号を取得(1992年)。この間、早稲田大学大学院に留学し、国文学研究資料館の客員教授、2015年には国際日本文化研究センターの外国人研究員をつとめる。専門分野は日本演劇、近世・近代文学と幅広く、とくに浄瑠璃・能・歌舞伎に関しては欧州では第一人者である。もとより料理からお茶・お菓子、和服、民芸と、和を愛する日本通である。(写真は2016年7月22日、東北大学における「21世紀支倉プロジェクト」のセミナーで講演するルベルティ教授)

